



今月の出来事

◆東京ビッグサイト太陽光エキスポ

東京ビッグサイトで2月29日から3月2日まで PV システムエキスポが開催されました。太陽光関連、エコハウス関連の展示が一同に集結するということが大変な賑わいでした。パネルメーカーだけでなく、当社の取引先である防水材料メーカーさんも多数出展していました。中でも、田島応用化工様の屋根一体型の防水保証付きのソーラーシステムであるソーラークロスを発表されており、目を引きました。平板瓦に納まったソーラーフロンティアの薄膜系パネルは、すっきりとした仕上がりで意匠としてもなかなかのものでした。屋根を軽くでき、防水一体型なので、後付け設置に比べ漏水の心配がないというのが特徴です。新築用のシステムですが、屋根の重い古い伝統工法の本造家屋に屋根を軽くする耐震補強と兼ねて、提案するのも面白いかもしれません。パネルのメーカーは、中国はじめ外国メーカーの数が非常に多く、競争の激しさを感じました。全量買い取りが始まることもあり、産業用の展示が多く、各社産業用に力を入れている印象がありました。パネルのみの展示より、エコハウスやスマートハウス、施工展などに賑わいを見せており、実際の現場に即生かせるようなものに関心が高まっているようでした。



ソーラークロス

◆岐阜営業所のリフォーム展示会

岐阜営業所にデアール各務原店をオープンし、2月4日(土)、5日(日)に最初のリフォームイベントを開催しました。まだ初めてということで、お客様は少なめでしたが、それでも何名か受注に結びつきました。近隣には開発された大きな住宅地があり、今後の展開に期待が持たれます。営業所内に家具もセットされ、徐々にきれいになってきましたが、まだ、営業所の敷地が広いことなどもあり、外見は他の営業所に比べて殺風景です。その翌週は、三河営業所、またその翌週は名古屋東店と、2月は順々にイベントを開催し、営業に頑張りました。



岐阜営業所 ショールーム



岐阜営業所 リフォームイベント



三河営業所

◆アイワン工法の全国展開

日本住宅耐震補強(株)で展開するアイワン工法ですが、補助金対象として認められる都道府県が増加しています。愛知県の実績増加に伴い、愛知県の減災協議会の働きかけにより他の県も申請すれば認めてくれる方向で進んでいます。現在、適用可能な都道府県は、愛知県の他に、静岡県、岐阜県、大阪府、佐賀県、大分県、徳島県、兵庫県そして東京都です。全国展開に向けて大きく進み始めました。

◆本社 2 階にもショールームを

各営業所にリフォームショールームを次々と展開していますが、本社の 2 階にもデアールの本店を設けようと家具とパーテーションを移動しました。最初は 1 階倉庫内を改装する予定でしたが、倉庫を狭くすることは工事に影響があると断念し、長年、利用していたロビーの位置を思い切って変更しました。今後、さらに床、壁を自然素材の落ち着ける空間に改装予定です。名古屋市に本社があるにもかかわらず、市内のお客様が少ないという体質転換のために、市内の戸建てオーナーに向けて直接営業を展開する予定です。デアール店の中では、一番小さくまた、最初に出来たわけでもないのですが、本社内にあるので本店にする予定です。



本社ロビー

CS 活動報告

◆阪神営業所の CS 活動報告

阪神営業所 瀬之口所長

今期、阪神営業所の CS 活動目標は「週間を習慣へ」～日々の業務での取引先対応、打合せ状況等を共通の認識とし、物事の先送り防止に努める～でした。毎週火曜日に週間活動ミーティング(週活)を実施し、各担当ごとの行動予定報告を行うことにより、各自が現在抱えている問題の早期解決、コミュニケーションを図り、アドバイス・フォローすることによるクレーム・アフターの減少に努めてまいりました。担当外のフォローを行うには、ある程度の知識・能力が必要になるため、月一回の勉強会への取り組みも内容の濃いものになり、各自のスキルアップも図れたと思います。

知識を習得すれば自信が付き、技術を身につければ信頼にも繋がる。とにかく所員一丸となって営業所を守り立てていき、信頼関係構築に努めていきます。

◆北陸営業所の CS 活動報告

北陸営業所 伊藤所長

「スピード・正確なお客様への対応」

当営業所の CS スローガンを 4 月に掲げて 1 年になります。

上期は、前所長の下で行動予定表を見やすく記入するなどして、所員の予定がわかるようになり、お客様からの連絡の受け答えがはつきりできるようになりました。

下期は、私が責任者として更に前進するように推し進めました。

お客様への対応において、スピーディに正確な対応をするために、携帯電話のメールでの伝達方法の頻度をあげました。メール導入は、所員や取引先が普段から使い慣れている面もあり、抵抗無く受け入れられ、大きなトラブルもありませんでした。その上、文字の連絡になるので、聞き間違いをなくすこともできました。

今後もお客様に喜んでいただけるようにスピードと正確な対応を所員と一緒に考え実践していきたいと思っています。

コラム

激動の時代？…結局は、実力の世界。

エルピーダメモリが会社更生法の適用を申請し、受理された。負債総額は 4480 億円で製造業では過去最大。エルピーダメモリは NEC と日立製作所が事業統合して誕生し、三菱電機のドラム事業を途中で吸収し、まさに大企業の寄せ集めの会社であった。リーマンショック後に、公的資金を含む支援も受けている。今回のことに至った理由は、市況低迷や円高で業績が悪化ということだか、何も、この会社にだけ市況低迷や円高が襲いかかっているわけではない。そもそも、国内唯一のドラムメーカーとかで、国策会社のようなところがあり、甘えの構造が垣間見え、経営責任を負う人間は、会社創業以来、一度でも存在したのであろうか？何とも無責任な人間の集まりという感じは拭えない。そもそも、会社設立から、本気でこの仕事を成功させるという実行と責任を伴ったシナリオが一度でも描かれたことがあるのだろうか？それすらも疑問であり、無責任状態で始まり、誰も責任をとらずに終わる。大企業と官の体質を浮き彫りにしている会社としか思えない。また、工場の操業は続けるらしいが、その

決断もその場のぎ的な、「もめ事は避けたい」という発想にしか見えない。本当にこのまま操業を続けて、会社の負債を減らすことに貢献できるのか？甚だ疑問である。この事例からも会社は、つぶれるべくしてつぶれ、時代のせいでもなんでもなく、責任は自らにあるのがよくわかる。

話はわかるが、1月にアメリカのコダック社が経営破綻した。黄色い箱のフィルムを買ったことがある人は多いと思うが、現在も買い続けている人は皆無であろう。デジタル化の急速な普及で時代についていけなかったということが理由であろうが、常に、技術力、商品力、マーケットへの対応力などを磨いていけば、危機に対しても対応が違っていただけではないだろうか。今の時代は大変だと思ふかもしれないが、激動の時代は、過去にも山のようにある。戦国時代もそうであるし、明治維新などは、現在とは比べものにならない激動である。その後も、日清・日露戦争、太平洋戦争などを経験し、時代は大きく動いている。日本企業の中でも、三井、住友といった財閥系企業は、江戸時代の鎖国時代に始まったものが多いが、井原西鶴の記述の中に、住友や鴻池などをさし「近頃のわか成金で、30年このかたの成功者」と記

されている。現在の大企業でも、過去にはそう見られていたのである。龍馬伝などでも、よく知られているが、三菱グループは岩崎弥太郎のベンチャー企業から始まっている。どんな企業でも、ないないづくしの創業時があり、そして、多くの激動の時代を切り抜けているのである。つまり、会社が生き続けるのか、それとも破綻するのかは、実力次第であり、結果がすべてである。しかし、よく考えてみよう。同じことは、自分たちにもすべてあてはまるのである。会社のこと、部門のこと、個人のこと、どんな時代でも、初めてやることであっても、成功するやつは成功するし、ダメなやつはダメなのである。うまくいかなくても言い訳しても、周りの人は、そんなことはちっとも思わず、「馬鹿なやつだ。力がないということもわかっていない、言い訳がましいやつだ」と思っているだけなのである。だから、そんな言い訳はしない方がいいというものである。今が、大変で激動の時代であるならば、歴史に従うなら、そういう時代は、まさに実力の時代である。年功序列、終身雇用が成り立つのは、秩序の時代で、高度経済成長時代ぐらいのもので、日本の中でも非常識の時代の産物である。

ちょっと一言

●「リフレッシュ」



春日井営業所 主任
平 悟司

お疲れ様です、春日井営業所の平です。

NITTOH に入社してちょうど 1 年になりました。以前も小さなリフォーム会社で営業・施工管理をしていましたので仕事内容は戸惑いなく始められましたが、営業エリアの広さに入社当初は随分無駄な移動をする毎日でした。

さて、タイトルの「リフレッシュ」ですが、皆さんはどの様に休みなど過ごされていますか？最近では健康ブームということもあり、自転車やジョギングなどされている方も多いかと思います。私も体重が年々増加しつつありこのままではマズイと思い、何年かぶりに空手道場で 2 時間ほど体を動かしてきました。以前のイメージだけは残っているのに、実際は散々で中学生にもコテンパンにやられて痛い思いをしました。汗もしっかりと落ちてとてもスッキリしました。

仕事の忙しさを理由に体を動かすことが少なくなり、かえって気持ちの切り替えができなくなっていたのかも知れません。何かの本で「体の疲れ」は回復しやすく、「心の疲れ」は回復しにくい。あえて体を動かし「体の疲れ」を起こすとその疲れを癒すことで、脳は「心の疲れ」も回復したと錯覚しやすいそうです。仕事に行き詰まったときや、悩みがあるときこそ目一杯体を動かして、しっかり睡眠をとると「リフレッシュ」できると思います。

今春から次男も幼稚園に入園するので一緒に道場に通って、改めて念願の黒帯に挑戦していきたいと思ひます。

★Happy News★

●お誕生おめでとうございます

2課 尾崎主任
男児誕生

●資格取得おめでとうございます

東海事業部 鈴木副部長
1級建築施工管理技士

